

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

毎年9月のお彼岸に帰郷する姉。「彼岸」そのものは仏教の教えだが、実は、日本では、古来よりの農耕儀式や自然崇拜の考えがあり、お彼岸に墓参りするの

は日本独特の風習だ。

帰郷の折楽しみに行う日帰りの旅行、今年は、NHK大河ドラマ「真田丸」でにぎわう地域を訪れる事に。早速企画して、広域観光の取り組み実態を知る。上田市と長野市の連携。

特に上田真田丸大河ドラマ館と松代真田宝物館特別企画

大河ドラマの影響が地域を生き活きと輝く

真田丸にもこの要素がふんだんに盛り込まれている。歴史家の間でも議論が分かれる、謎にまつまれた豊臣秀三味や謀反の噂で切腹の定説を、新たな「秀次ウツ説」での展開はドラマをより魅力的に輝かせた。大河ドラマ

展への共通入場券。地元に住みながら上田方面しか思いつかなかった認識不足、訪れた真田宝物館の展示物には再びと思わせる興味深い内容だった。

NHK大河ドラマ「真田丸」は、堺雅人が主演する戦国時代最後の名将・真田信繁(通称・幸村)を三谷幸喜さんが脚本した作品。初回番組平均視聴率19.9%、BSプレミアムは、「3%台で健闘4%台で異例」と言われる視聴率が5

ない。ベテラン俳優も本番直前まで台本に格闘している姿が理解できるとの面白さ。三谷さんが得意とする脚本は、「裁判」と「犯人探し」だ。

真田丸にもこの要素がふんだんに盛り込まれている。歴史家の間でも議論が分かれる、謎にまつまれた豊臣秀三味や謀反の噂で切腹の定説を、新たな「秀次ウツ説」での展開はドラマをより魅力的に輝かせた。大河ドラマ

さんが主演する戦国時代最後の名将・真田信繁(通称・幸村)を三谷幸喜さんが脚本した作品。初回番組平均視聴率19.9%、BSプレミアムは、「3%台で健闘4%台で異例」と言われる視聴率が5

ない。ベテラン俳優も本番直前まで台本に格闘している姿が理解できるとの面白さ。三谷さんが得意とする脚本は、「裁判」と「犯人探し」だ。

真田丸にもこの要素がふんだんに盛り込まれている。歴史家の間でも議論が分かれる、謎にまつまれた豊臣秀三味や謀反の噂で切腹の定説を、新たな「秀次ウツ説」での展開はドラマをより魅力的に輝かせた。大河ドラマ



見学者へのボランティアガイドの説明で、上田の歴史価値が高まっている

感。周辺地域もまるでお祭り気分。NHK大河ドラマの舞台地は、いつもにぎわい地域を活気づけるが、次の大河ドラマが始まるのに、にぎわいのある地域振興の取り組みを継続してほしいと強く思った1日でもあった。

(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)